

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと表現（造形）		科目コード	19Y340	担当者	昆 正子			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目			領域に関する専門的事項（表現）			免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児の造形表現の理解と保育内容の研究						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	表現することの楽しさを実感しながら様々な造形活動を行うことができる										
2.	材料・用具・技法の扱い方を理解し、適切に用いることができる										
3.	協働して表現することを通じ、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる										
4.	幼稚園教育要領に示された方法及び内容を実践的に理解する					○	○	○	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						提出物（100%）					
まず学習の根幹となる幼稚園教育要領の領域「表現」のねらい及び内容を確認し、保育内容における造形表現活動の意味についておさえる。そのうえで様々な造形的遊びや表現技法、季節や行事・伝承遊び等を楽しみながら体験することにより、造形に関する基礎知識の習得や、表現の多様性、物的環境について理解を深められるようにする。最終的に作品や学びの記録をスケッチブックに整理させる。											
課題等への対応						授業外学修時間					
制作時間中教員が巡回指導し学生の質問・相談に応じる。 提出物は適宜内容をチェックし、再度本人に返却する。必要であれば助言を書き込む。						授業前後に1時間程度。特に授業前までに必要な道具・材料を揃え、教科書を熟読しておく。					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	領域「表現」を考える（保育内容における造形活動の歴史的変遷）					幼稚園教育要領及び保育所保育指針についての予習					
第2回	領域「表現」を考える（幼稚園教育要領改訂から）					幼稚園教育要領及び保育所保育指針領域「表現」についての予習と復習					
第3回	領域「表現」を考える（ねらい及び内容、保育者の役割）					領域「表現」ねらい及び内容、内容の取扱いについての予習・復習					
第4回	表現を育む人になる一色と遊ぶ					色彩の基礎知識に関する予習					
第5回	色を楽しむ（色の探検）					色彩の基礎知識、色の三原色に関する予習・復習					
第6回	色を楽しむ（色相・明度・彩度）					色彩の基礎知識、色の対比に関する予習・復習					
第7回	色・形を楽しむ（形の発見）					造形技法（折り紙・切り紙）に関する予習・復習					
第8回	色・形を楽しむ（触角の再発見）					感触遊びに関する予習・復習					
第9回	空間の表現（点と線を遊ぶ）					空間表現に関する予習・復習					
第10回	技法遊びカタログ制作1					絵画造形技法に関する予習・復習					
第11回	技法遊びカタログ制作2					絵画造形技法に関する予習・復習					
第12回	技法遊びカタログ制作3					絵画造形技法に関する予習・復習					
第13回	技法遊びカタログ制作4					絵画造形技法に関する予習・復習					
第14回	技法遊びカタログ制作5					絵画造形技法に関する予習・復習					
第15回	保育内容における造形活動についてまとめる					これまでの学習内容の予習・復習					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	『保育をひらく造形表現』槇英子、萌文書林				受講生への メッセージ	制作の際には、汚れてもよい服装等、各自心がけること。材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。					
参考書 等	内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』										